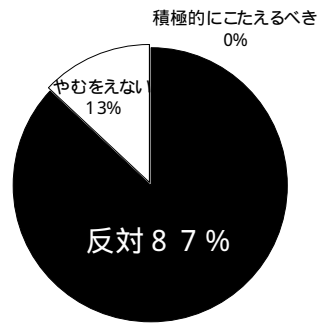


# 小金井ごみ搬入に反対の声が圧倒的

## —— 市民アンケートへの回答から

共産党羽村市議団がおこなったアンケートには、小金井市のごみ受入れについて、反対や不安の声が多く寄せられています。その一部を紹介します。



Q.小金井市のごみ搬入についてどうお考えですか？

### < 反対の声 >

以前、読売新聞で読みましたが、小金井市は地元住民の激しい反対にあい、候補地選定すらできない、ということですが、反対する間もなく他市のごみを受け入れさせられている地元民としては、こんな理屈、到底、承服できません。

今回のごみ受入れは正に小金井市の失政であり、新潟地震等の被害による場合と全く異なる。一日も早く搬入ストップするべきである。

羽村は焼却施設のとなりには小学校、中学校、そして高校もあります。それらの子ども達の健康に害があっても良いのですか。小金井の市民一般の人たちに見に来てもらい、もし自分達の子どもがここに通学しているとしたらどう思うのか聞き、回答してもらって下さい。

ダイオキシンの増加。市民に何も確認せずに他市のごみが持ち込まれること。議会の話し合いの前に市として大きく広報にでも載せて、知らせ、アンケートをとってほしかった。

西多摩衛生組合焼却場の近くに住んでいます。昭和48年に羽村の自然の豊かさに引かれて越して来ましたが、現実のごみ投棄の大きな穴があり、投棄場の埋立てをするよう近くの住民町会が一つになり、組合に申し立てをしました。八工がびっしりでした。それから35～36年また、今度は他市のごみの為に毎日心を悩ませています。(中略)羽村に一生涯住むつもりで来たのに、年数がたつにつれて羽村にガッカリする私達の気持ちをどう受け止めますか。

### < やむをえないの声 >

自治体同士で協力するのはやむをえない時もあるかなと思う。(一時的には)

2008年3月23日 No. 888  
発行 羽村民報編集委員会  
責任者 野崎 衷



日本共産党羽村市議団のHP  
<http://www.jcphamura.org>  
事務所 電話 579-2132 Fax 579-2106

無料法律相談 4月8日(火)  
午後1時半～  
ご予約は鈴木議員の携帯電話まで  
080-1058-9450

# 柳泉園組合(東久留米、西東京、清瀬)の議会を傍聴してきました 「広域支援には強制力ない」「広域支援でなく人道支援だ」との発言が交わされる



2月27日、柳泉園組合の議会では、地元町内会から「小金井市の対応はせっぱ詰まった感じがしない」「ずるずるとごみ搬入が延びてしまうのではないか」などきびしい意見があいつぎ、3つの条件をつけて受入れを決めたことが報告されました。

条件は、3月中に小金井市の新焼却炉の候補地を数ヶ所に絞り込む 平成21年2月までに新焼却炉の場所を正式決定する 支援は最長でもあと2年間とする、の3つです。これらの条件を満たさなくなった時には、すぐに受入れを中止することも示されました。

また、野崎管理者(東久留米市長)は「広域支援があるから網羅的に網をかけてしまって、(ごみ受入れを)必ずやらなければいけないんだよ、ということでは私はないという風に思っております。(中略)焼却施設は、それぞれの事情もございませぬ、なおかつ背負ってきた歴史もさまざまございませぬ。」と発言し、広域支援には強制力がなく、小金井市のごみ受入れはそれぞれが判断するものだとの見解を示しました。

ある議員からは「小金井のケースは広域支援になじまない。『人道支援』だと思っている」などの発言がなされ、他の議員がうなずく姿が見られました。

## 小金井市・市民検討委員会での議論は？

小金井市では、新しい焼却炉をどこにつくるのかを決める「新焼却施設場所選定等市民検討委員会」が昨年6月から続けられており、今年6月、全28回で終了予定です。

小金井市が最有力候補地として示した ジャノメ工場跡地、二枚橋焼却場跡地は、いずれも不相当とのことから、現在は、他の公有地、私有地にまで対象を広げて検討しています。

3月8日、第20回の検討委員会では、15ヶ所の公有地等の中から選定をおこなっていましたが、傍聴者からは「小金井市の積極的な姿勢が見受けられない。建設場所はこれで決まるのか？」との声も聞かれました。



1面(注) 小金井市と国分寺市は将来、可燃ごみの共同処理をおこなう予定です。その条件として、小金井市が9年後までに焼却施設を建設することになっています。計画が順調に進行しているか確認するため、08年3月に新たな「覚書」を交わす方針です。